

【第4回 佐賀県災害警戒本部会議】 7月11日

危機管理防災課長／11日7時現在、新たな人への被害は発生していない。10日、唐津市浜玉町平原で救助活動中に発見された1名は、死亡が確認された。

昨日の救助活動は19時30分に終了。警察、消防、地元消防団など、275名体制だった。

本日は、現地で5時半から会議があり、二次災害等に備え、安全管理の徹底を話し合った。具体的には、活動班、安全管理班、休憩する班に分け、交代で作業をする。

現地から、大きな石等を動かす際のアドバイスが欲しいとの連絡があった。県では、県内の土木事業者にアドバイスを受ける、国交省から専門家を派遣してもらう、自衛隊の専門部隊に来てもらう、の3つの選択肢を検討した結果、県内の事業者が、9時頃現場に入るようになった。

本日の救助活動は7時開始、規模は昨日と同程度。昨日22時30分、自衛隊への災害派遣要請が受理された。新たに自衛隊40名と日本レスキュー協会が加わる。搜索範囲は、昨日までの家の周辺から、川の方まで広げる。

唐津市内の停電は140戸。

市町の警戒体制、避難等の情報、警報等の発表状況、県内の交通状況は、天候が回復しているため、縮小している。県からのリエゾンは、唐津市に5名派遣。

県土整備部／公共施設は、被災箇所の全容把握を進め、応急対応が必要な所から順次着手している。河川施設の被害が36か所。道路冠水による通行制限はなくなった。土砂崩れによる通行止めは10か所。通行止めの解除に向けて、土砂撤去作業を継続。

道路施設の被害把握のためのパトロールは、本日中に終了する見込み。

唐津市浜玉町平原の大規模な災害箇所について、昨日、現地で国土交通省派遣のTEC-Doctorと唐津土木事務所、設計コンサルで打合せをした。本日は、唐津土木事務所と設計コンサルで、今後の対策に向け現地調査を進める。

NEXCO西日本のホームページによると、鳥栖インターチェンジから東脊振インターチェンジ間が、切土法面の亀裂のため通行止め。対応策の状況を注視したい。

農林水産部／中山間地を中心に林地や農地等への土砂災害が複数発生。公共施設や人家等への影響はない。

本日、農林事務所や農業振興センターの職員が市町や JA と連携し、農地、地産施設やハウス施設、農作物の被害状況を把握する。

農業技術防除センターから普及指導情報で農業技術対策を出している。少しでも被害が軽減するよう、関係機関と連携して営農指導を行う。

健康福祉部／昨日は、床上浸水や雨漏りする施設があった。本日は各施設が再開し、被害報告の可能性はある。

地域交流部／交通状況について。

- ・ JR 筑肥線の山本—伊万里間は、線路等の安全点検に時間を要するため、始発から運転見合せ。
- ・ 長崎本線の鳥栖—江北間、唐津線の久保田—唐津間は、始発から通常ダイヤで運行。
- ・ 唐津線の相知—本牟田部間の土砂流入付近では徐行運転しながら運行再開。
- ・ バスは、一部の路線で運行見合せ。バス運行には、道路開通状況との兼ね合いがある。県土整備部と情報共有し、バス事業者と調整を進める。

警察本部／昨日は、19時半まで捜索・救助活動を行った。本日は、既に活動開始。平原の家屋倒壊現場周辺の捜索・救助活動に従事する予定。9時15分から県警ヘリで唐津の現場周辺の確認を行う。

自衛隊／陸上自衛隊第4師団は、昨日の22時30分に要請受理。本日、5時30分から現地調整、8時よりローテーションに従って活動を開始。

本日5時からドローンによる現地の偵察等を予定していたが、強風で中止。引き続き、現地の気候、地形、気象の安全を確認したうえで活動する。

佐賀広域消防局／5時30分に集結、7時から活動開始。唐津市消防本部10隊42名、県内応援8隊37名、計18隊79名で活動。消防団は60名体制。

本日は、2つに分かれて活動する。

- ・ 唐津市消防本部、消防団で、河川の検索活動。
 - ・ 県内応援消防、警察機関、自衛隊での現場の発掘活動。
- 二次災害の防止、熱中症に留意して活動する。

九州地方整備局／浜玉町土砂崩落現場の実施調査に TEC-Doctor の九州大学大学院、水野先生に入ってもらい、コメントをいただいた。

「今回の土砂災害は、真砂土と思われる細かい土砂を主としたもの、流木は20本くら

いが流出。現地にある1～2mの岩は、もともとその場に存在していたのではない
か。表層崩壊に起因した土石流と思われる。」

安全対策への助言として、「今後、降雨が生じなければ土石流は起きないだろう。救
助活動中は、降雨レーダーによる雨域の監視と土砂移動現象が見やすい安全な場所で
見張り員を立て、異常が認められた場合は直ちに中止する措置を取ること。現場内の
土砂撤去は、真砂土が1～2m程度堆積しているため、雨水を含む場合は非常に崩れ
やすい。重機による作業や軽石付近の作業時には十分な注意が必要だ。」とのこと。

危機管理防災課長／唐津市七山の池原地区は、本日6時半から九電が復旧作業を開
始。本日中に解消する見込み。

教育委員会／配付資料には、休校なしとなっているが、情報を収集中。整理次第、報
告する。

防災監／今日は、天気が快方に向かっている。浜玉の土砂崩れ現場の救出活動が中心に
なるだろう。不明の2名の救助活動に、全力で対応してもらっている。くれぐれも二次
災害に注意して活動してほしい。

各地で様々な被害が出ている。復旧作業を含め、引き続き市町、関係機関と連携
し、対応をお願いしたい。